

新年のごあいさつ



和寒町長

奥山

盛

新 年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成29年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

ま ち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、4つの基本目標を定めて動き出した平成28年は、三浦綾子さんの小説「塩狩峠」の連載開始から50周年の節目を迎え、「水点」の旭川市、「泥流地帯」の上富良野町と連携して様々なイベントが開催され、和寒町の魅力を町内外に発信する貴重な機会となりました。

基 幹産業であります農業は、7月末から8月にかけて連続して発生した台風等の被害に見舞われ、収穫間近の農作物が出荷できなくなる等、深刻な影響を受けました。被害に遭われました方々に対し、心からお見舞い申し上げます。

また、TPP（環太平洋経済連携協定）については、現在混迷を深めている状況でありますことから、今後とも情報収集に努めてまいります。

本町の特産品として振興しているストライプペポについては、ペポナッツの売り上げが前年同期比で約4割増加したほか、果肉が大手飲料メーカーの原料として使用され、一都九県で販売が開始されました。

商 工業については、わっさむ活活商品券1万6千組を9月1日から販売し、町内経済の活性化に期待しているところです。

また、10月にはハロウィンでカボチャ日本一のまちを盛り上げようと、町内若手有志が集い、本町初のハロウィンイベント「わっさむハロウィン2016」が開催され、子どもたちの仮装行列や国道沿いに並べた多くのカボチャランタンで賑わいを見せていました。実行委員会の皆さまには、あらためて感謝申し上げます。

平 成28年度も、私が重点目標として掲げてきました「安心して暮らすことのできるまちづくり」「産業育成による活力あるまちづくり」「ひとが輝くまちづくり」を基本に町政運営を進めてきました。

和寒町に住んでいただくためのきつかけづくりとして、多くのご利用をいただいているマイホーム応援事業などを継続して実施しているほか、今年度から、町に戻って来られる方の奨学資金の返済を一部免除するふるさと生活応援事業

や、介護従事者への資格取得支援、家賃助成など、この町で働く方への支援も充実させていただきました。

また、塩狩峠・夫婦岩周辺整備については、検討委員会の皆さまから構想の提案書をいただきましたので、今後できることから順次整備を進めていきたいと考えています。

教 育関係につきましても、教育先進地視察を実施するなど、引き続き指導力の向上を支援し、子どもたちが自ら学ぶ力を育てているほか、開村100周年をきっかけに結んだ剣淵町との相互交流推進に関する協定に基づき、学校教育や生涯学習の交流に努めているところです。

む すびに、本年も引き続き住民福祉の向上をめざし、町民・議会・行政が一体となった協働のまちづくりを進めていくため、より一層努力する所存でありますことを申し上げます。希望に満ちて迎えた新年が限りなく明るい年になりますよう心からご祈念申し上げます。とさせていただきます。